

◎今年度の活動

研究代表をしている科研費「戦後日本におけるマス・メディア受容と現代芸術の文化学」の最終年度にあたり、3年間の研究成果の発表として、キュレーションと研究会を実施、これらメディア表現研究の成果を本学紀要に掲載した。受託研究として、平成28年度「文化庁メディア芸術所蔵情報等整備事業」メディア・アート分野の業務を担当し、調査研究を実施した。

共同研究として、平成28年度「メディア芸術アーカイブ推進支援事業」（文化庁）において、伊村靖子講師を中心に実施した「三輪眞弘メディア・パフォーマンス作品の保存・修復・資料化プロジェクト」に参加。

他に、赤松正行教授を中心に実施した「クリティカル・サイクリング」（研究会）に参加。

研究委員として『情報科学芸術大学院大学紀要』の企画、編集を担当。



「あいちトリエンナーレ2016」共催企画、シンポジウム「メディア・アートとは何か？ IAMAS20周年から考える」2016年10月10日、名古屋市美術館

◎作品発表

【グループ展】2016年6月19日～7月22日「正体不明！「説明できないもの」展」ぎふ清流文化プラザ（「量子詩」を展示）

【グループ展】2016年7月7日～8月14日「found sideB」front: GALLERY CAPTION

【演奏】2016年10月1日「Asia Computer Music Project 2016」洗足学園音楽大学（長嶋寛幸とのコラボレーション）

【演奏】2016年12月9日「チャンス・フィギュレーション・コラボレーションズ」トーキョーワンダーサイト本郷（仲井朋子に図形楽譜として詩を提

供)

【演奏】2016年12月15日「デシベル現代音楽アンサンブル・コンサート」
国立音楽大学（同上）

◎研究発表、キュレーション、その他

【キュレーション】2016年5月28日～8月7日「あゝ新宿—スペクタクルとしての都市」早稲田大学演劇博物館

【キュレーション】2016年6月16日～7月9日「高松次郎：アトリエを訪ねて」Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku

【聞き手】2016年6月18日、あいちトリエンナーレ実行委員会主催 ALA-SCOPE 02「映像レーベル・ソルコードの作家たち 齋藤正和」アートラボあいち大津橋

【ギャラリートーク】2016年6月21日「あゝ新宿—スペクタクルとしての都市」大塚聡、早稲田大学演劇博物館

【レクチャー】2016年6月25日「高松次郎：アトリエを訪ねて」中西博之、Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku

【シンポジウム】2016年7月8日「新宿 1968—69 ドキュメンタリー/ハプニング/ジャズ」山下洋輔、田原総一郎、五箇公貴、宮沢章夫、岡室美奈子、早稲田大学大隈記念大講堂

【聞き手】2016年7月22日「映像レーベル・ソルコードの作家たち 池田泰教」アートラボあいち大津橋

【キュレーション】2016年8月11日～28日、青柳菜摘「富士日記」NADiff Gallery

【ギャラリートーク】2016年8月11日「富士日記」青柳菜摘、小沼純一、NADiff Gallery

【聞き手】2016年8月26日「映像レーベル・ソルコードの作家たち 大木裕之」アートラボあいち大津橋

【聞き手】2016年9月16日「映像レーベル・ソルコードの作家たち 前田真二郎」アートラボあいち大津橋

【ギャラリートーク】2016年10月2日「蓮沼執太『作曲的 | compositions : rhythm』」スパイラルガーデン

【シンポジウム企画】2016年10月10日、「あいちトリエンナーレ 2016」共催企画、シンポジウム「メディア・アートとは何か？ IAMAS20周年から考える」久保田晃弘、関口敦仁、吉岡洋、三輪眞弘、名古屋市美術館

【シンポジウム企画】2016年11月6日、「文化庁メディア芸術祭 20周年企画展 変える力」連携企画「メディア・パフォーマンスとは何か？ IAMAS20周年から考える」川崎弘二、三輪眞弘、伊村靖子、3331Arts Chiyoda

【研究会企画・研究発表】2016年11月12日、「戦後日本におけるマス・メ

ディア受容と現代芸術の文化学」松井茂、飯田豊、川崎弘二、中西博之、原久子、赤羽亨、キャンパスプラザ京都第4講義室

【レクチャー】2016年12月17日「いま、テレビになにが可能か その草創期から問いなおす」今野勉、飯田豊、成蹊大学サテライト・オフィス

【研究発表】2017年2月17日「1960～70年代に見られる芸術表現の研究拠点形成と資料アーカイブの構築」伊村靖子、鈴木勝雄、平野泉、齋藤歩、国立新美術館

◎テキスト

【展評】「なんと多様な日々だ！」『美術手帖』2016年5月号

【寄稿】「誤読する方法」『REAR』vol.37、2016年6月

【構成】「磯崎新 TOKYO 1960-1970 STAGE 書を捨てよ、町へ出よう」『あゝ新宿—スペクタクルとしての都市』早稲田大学坪内博士記念演劇博物館、2016年6月

【寄稿】「「免疫」としてのアンビルド——東京都新都庁舎計画 1985年」『あゝ新宿—スペクタクルとしての都市』早稲田大学坪内博士記念演劇博物館、2016年6月

【書評】「出来事の編纂」『読書人』2016年8月12日

【展評】「ユートピアの調律」『美術手帖』2016年12月号

【論文収録】NHK放送文化研究所編『テレビ・ドキュメンタリーを創った人々』NHK出版、2016年12月

【解題執筆】『遙かなる他者のためのデザイン 一久保田晃弘の思索と実装』BNN、2017年2月

【研究ノート】「戦後日本におけるマス・メディア受容と現代芸術の文化学 高松次郎の場合」『情報科学芸術大学院大学紀要』第8巻、2017年3月

◎社会的活動

【研究費】基盤研究C「戦後日本におけるマス・メディア受容と現代芸術の文化学」(科研費26503003)

【研究費】放送文化基金「思想としてのテレビ(2)——今野勉、萩元晴彦のデジタル・アーカイブ構築」

【研究費】平成28年度「文化庁メディア芸術所蔵情報等整備事業」メディア・アート分野

◎学内の活動

モチーフワーク、総合学C、情報社会特論B

IAMAS 図書館・アーカイブ・プロジェクト